

研究実施のお知らせ

2023年9月25日 ver.1.0

研究課題名

Acute Care Surgery 領域での鏡視下手術の臨床的特徴における解析

研究の対象となる方

2016年4月から2023年9月の間に、島根大学医学部附属病院高度外傷センターで鏡視下手術を受けられた方

研究の目的・意義

Acute Care Surgery 領域における手術は、全身状態が不安定な症例も多く、鏡視下手術の適応については施設や術者によるところが大きく明確ではありません。しかし、Acute Care Surgery で取り扱う重症体幹部外傷や急性腹症手術の中にも鏡視下手術の良い適応となる症例は少なからず存在します。過去には肝損傷で鏡視下手術を行なった症例報告も見られますが、全身状態が安定した症例でも開胸・開腹手術による侵襲の大きな手術が実施されているのが現状です。今回、当センターにおける鏡視下手術の実施状況や適応、治療成績、術後経過などを明らかにすることで、今後の Acute Care Surgery 領域における鏡視下手術の適応拡大に寄与し、患者さんの QOL 向上にも寄与すると考えています。

研究の方法

本研究は過去の手術台帳及びカルテ記録より、年齢、性別、診断名、外傷症例では重症度、受診から手術までの期間、手術術式、手術時間、出血量、輸血量、輸液量、術後合併症、入院期間、死亡率などを後ろ向きに解析する観察研究です。研究のために新たな検査や治療が発生することはありません。また、患者様への謝礼などありません。なお、研究で用いる情報は氏名、生年月日、患者 ID などの個人情報には削除し取り扱います。

研究の期間

2023年12月11日～2024年12月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その

際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座／附属病院 高度外傷センター 木谷昭彦

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2024 年 4 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座／附属病院 高度外傷センター 木谷昭彦

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2757 FAX 0853-20-2753